

共焦点レーザー走査型顕微鏡・光学顕微鏡用 3D/4D 画像データ処理ソフト セミナー  
IMARIS 9.3 (BITPLANE/An Oxford instruments company)

自然生命科学研究支援センターの Imaris 画像処理解析システムを 2019 年 3 月に更新しました。  
レーザー顕微鏡、光学顕微鏡ベースのセクショニングシステム、あるいはデコンボリューション処理などで得られた 3D/4D 画像データを視覚化するために必要な機能を全て備えた基本ソフトウェアに、3D 測定とフィラメント解析を追加しています。画像解析や発信力のあるプレゼンテーション画像の作成のためのセミナーを開催いたします。

実際の解析 PC を用いてデモンストレーションしつつ操作をみていただく 2 時間程度の講習(1 回 5 人程度)を 5 回予定しています。ご興味のある方はお気軽にご参加下さい。

**場所:岡山大学コラボレーション棟 210 号室**

**日時:5 月 29 日(水曜日)**

午後の部① :13:30~15:30

午後の部② :15:45~17:45

**日時:5 月 30 日(木曜日)**

午前の部 :10:00~12:00

午後の部① :13:30~15:30

午後の部② :15:45~17:45

**講師:オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社**

**アンドールテクノロジー事業部 ビットプレーン**

**小関 重光 氏**

**お申込**

**5 月 24 日(金)**までに以下の事項を記入し、予約・問い合わせ先まで、ご連絡ください。なお、予定枠を超えたお申込があった場合は、早い方を優先させていただきますので、ご了承ください。

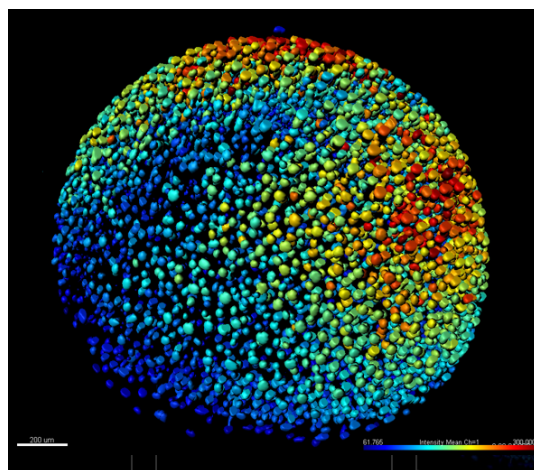
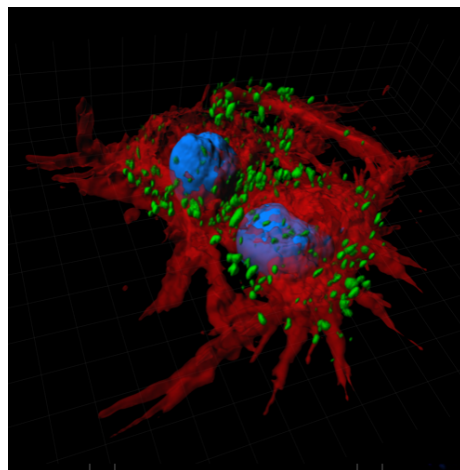
- ・ご所属
- ・ご希望の時間帯(日程調整のため第 3 希望までお願いします)
- ・参加希望人数
- ・解析したい画像データ持参の有無
- ・今回導入されたソフトで、今後解析してみたい事項

## ●IMARIS9.3 基本ソフトウェア

レーザー顕微鏡、光学顕微鏡ベースのセクショニングシステム、あるいはデコンボリューション処理などで得られた 3D/4D 画像データを視覚化するために必要な機能を全て備えた基本ソフトウェアです。



任意の視点から素早く様々なタイプの立体像を構築できます。異なるレンダリングの立体・平面像を組み合わせると同時に表示することもでき、表現力は無限です。また、作成した立体像からは、シンプルな回転から複雑な動作の動画まで簡単に作成することができ、MP4 や AVI 形式で保存が可能なので効果的なプレゼンテーションに利用可能です。



## ●3D 測定 Imaris MeasurementPro

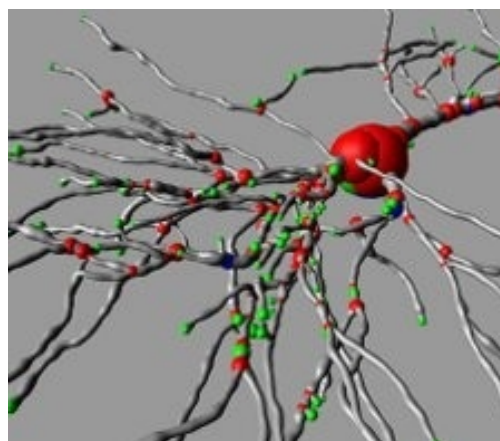
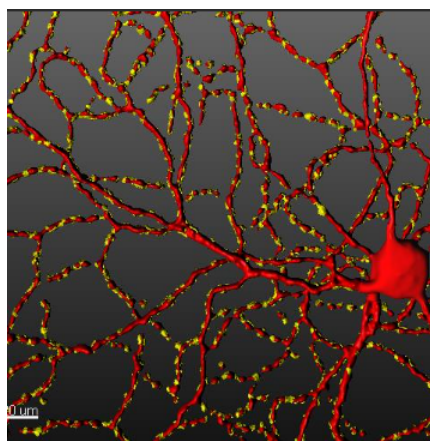
3D 画像の様々な測定を行い、Imaris で構築した像から統計データを導き科学的な定量化をします。形状、大きさ、輝度の測定を行い、測定値に基づいた分類や分離したオブジェクトのフィルタリングなどが可能です。

- ・3D 画像中でポイント指定による 2 点間距離、クリックによる個数カウント等の手動測定
- ・輝度値を指定して測定部分の 3D 画像構築、各種パラメータの自動測定
- ・統計値の計算と出力

## ●FilamentTracer フィラメント解析

神経、微小管、血管等、フィラメント構造のオブジェクトを自動検出し分岐状態の解析が可能です。設定した輝度値を元に自動検出し、3D モデルの作成、計測を行います。自動で検出できない部分は、3D 画像で確認をしながら手動で

トレースを行い、精度の高い 3D モデルを作成することが可能です。作成したモデルは Imaris で作成した 3D 像と重ね合わせて確認できます。またモデルは分岐点毎に分割され、セグメント長や体積、平均径、分岐点の数などのセグメント単位での解析が可能です。



【ご予約・お問い合わせ】

株式会社 大熊 青江 篤 [aoe@k-okuma.co.jp](mailto:aoe@k-okuma.co.jp)

自然生命科学研究所 設備・技術サポート推進室

tel 056-251-8746, mail: [setsubi\\_COR@okayama-u.ac.jp](mailto:setsubi_COR@okayama-u.ac.jp)

URL: <http://fspp.kikibun.okayama-u.ac.jp>